

介護・障がい施設への感染症予防支援（大府市高齢障がい支援課）

目的

- ・感染者、感染疑い者発生時の施設職員、入所者、在宅サービス利用者の感染防止
- ・在宅でのサービス利用者が適切な看護・介護を継続して受け続けられる体制の支援

↑迅速な拡大防止対応、施設職員の感染防止の徹底
 ※特に不足している防護服の供給が必要

支援策：介護・障がい事業所への防護服の提供

- ※事業所が入手困難な防護服を市が備蓄し、介護・障がい事業所（入所・利用者）で感染・感染疑い者が発生した場合、事業所に必要数を提供（約6,000枚備蓄）
- ※介護・看護サービス提供時に感染予防につながる一定枚数の防護服を事業者配布（約4,000枚配布）

国・県

1次・2次補正予算で衛生用品の支援、非常時配布を決定するも、安定的なサービス提供には不十分（防護服を購入補助対象、非常時に一定分を配布するなどの支援）

【介護現場の意見を反映した防護服】

- ・裾にミシン目を入れ、身丈を調節可
- ・ビニール袋を防護服に取付け、脱衣後廃棄可
- ・袖にはゴムでなく、指を通す穴を開け、作業工数を省力化
- ・首周りにミシン目を入れ、脱衣を容易に

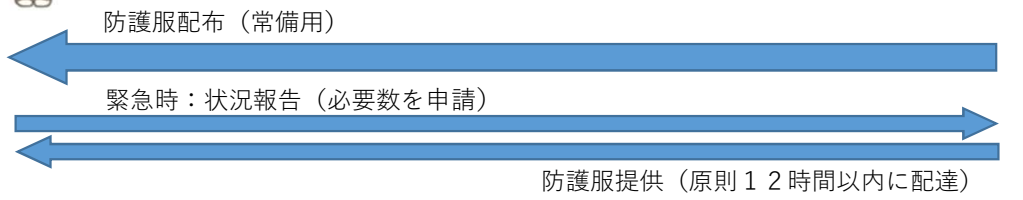
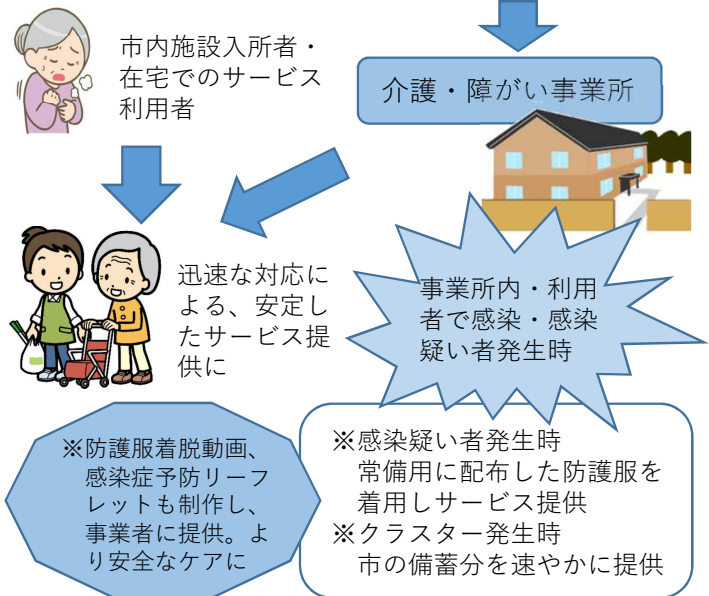
※既製品でなく、介護現場の意見を反映したオリジナルの防護服を関係者からの意見をもとに製作

市内縫製事業者
 ※自動車製品製造から新規参入

【市からの発注分】

- ・不織布製（10,000着発注）
- ・ポリフィルム製（500着発注）

※ポリフィルム製は撥水性が高く、組み合わせ使用



防護服配布・提供の基準

◎常備用の配布

- ・規模・業態（「入所施設」「通所施設」「訪問施設」）によって算出
- ・各事業所で常備し、介護等の従事をする際に感染リスクが高くなる情報を得た場合に着用

◎緊急時の提供（1週間分を想定も、最大4週間分まで延長可）

【条件】 新型コロナウイルス陽性者、濃厚接触者と接触する場合（介護家族に配布することも可）

【提供枚数】 入所施設：施設職員数×7枚+感染利用者数及び感染の疑いがある利用者数×8枚×7日分
 通所施設：施設職員数×7枚+感染の疑いがある利用者数×8枚×7日分
 訪問施設：施設職員数×7枚+1週間当たりののべ訪問先数